

有田川町議会広報

かわら版

第63号

令和3年11月発行

QRコードから
議会の情報
をご覧ください



有田川町議会 検索



発行／有田川町議会 発行責任者／議長 森谷 信 哉 編集／広報広聴常任委員会 印刷／協栄印刷

〒643-0021 和歌山県有田郡有田川町大字下津野2018番地4 TEL：0737-22-3294(議会事務局) FAX：0737-52-2198

議会の「録画配信」をぜひご覧ください！

令和3年第3回定例会の一般質問は9月9日に行われ、10人の議員が登壇しました。各議員の一般質問は紙面の都合上、要約したものを掲載しております。現在、議会の内容をインターネットで録画配信しておりますので、各議員の全質問を視聴することができます。パソコンやスマートフォンなどからお気軽にぜひご覧ください。



一 般 質 問

10人の議員が登壇

殿 井 堯	(仮称) 鏡石トンネル開通後の取り組みは	P 3
椿 原 竜 二	体育施設にエアコンを！	P 4
谷 畑 進	中井原の町営住宅跡駐車場の活用は	P 5
佐々木 裕 哲	ワクチン接種率、県・国と比較して	P 6
中 島 詳 裕	地域林業の現状と取り組みは	P 7
片 畑 進 之	危険箇所の転落防止柵は	P 8
堀 江 眞智子	御霊学童保育所の増築を	P 9
増 谷 憲	風力発電事業はどこまで進んでいるのか	P 10
小 林 英 世	空気感染への認識は	P 11
岡 省 吾	過疎地域の活性化に機能する清水行政局へ	P 12

※各議員ページのQRコードを読み取ると一般質問の動画を視聴することができます。

次回、令和3年第4回定例会の一般質問は、11月25日、26日を予定しています。



殿井 堯

(仮称)鏡石トンネル 開通後の取り組みは

問 県道海南金屋線の改修が進んできている中で、糸野地区から徳田地区へ通じる橋梁架設の要望が地元区などから出されている。鏡石トンネルの開通後、糸野地区から徳田地区への橋梁架設で県道の利便性が高まるよう、どのように取り組んでいくのか。

答 県道海南金屋線は国道424号との接続により、県中央部を南北に縦貫する道路網の一翼を担うとともに、国道42号のバイパス的役割も果たし、地域の活性化に寄与する重要な道路である。このことから本路線が国道



徳田から糸野を望む

424号および国道42号とスムーズに連絡できるように、糸野地区から徳田地区間の橋梁架設を含めた新設道路は、町議会や地元区のお力添えをいただきながら

要望実現のために取り組んでいるところである。引き続き新規事業化が図られるように粘り強く県関係機関に要望していく。

若者への ワクチン接種は

問 12歳未満など、若年層への新型コロナウイルスワクチン接種はどうか。

答 新型コロナウイルスはこれまで若年者には感染しにくいとされてきたが、変異したデルタ株はこれまでのものより数倍感染力が高いついと言われている。しかし、12歳未満の接種は対象外であり、それらの方への感染が非常に心配される。町民の皆さまには引き続きマスクの着用はもとより感染対策に努めていただきたい。

問 保護者が子どものために仕事を休んだときの休業補償はどうか。

答 補償は特定されなければならぬので難しい。今後の課題としてい

問 学校などでのコロナウイルス感染症対策はどうか。

答 現在、学校および保育所では文科科学省が定めた「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を基本に徹底した感染防止策を講じている。具体的には、3密回避、マスクの着用、手洗いの励行、健康観察、消毒の徹底など、できる対策は実施している。今後も引き続き緊張感をもって取り組んでいき、子どもや保護者の方々が少しでも安心して登校、登園できるように、できる限りの情報は伝えていく。

また「学校で児童生徒や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドライン」を参考にしながら、保健所の指導のもと医師会の意見も聞きながら迅速に対応していく。

熱中症対策! ～体育施設にエアコンを～



椿原 竜二

問 普通教室・特別教室・体育施設（体育館・武道場）のエアコン整備率は、
答 普通教室は、平成25年度に100%となっている。
 特別教室、約92%。
 体育施設、約10%となっている。

問 近年、熱中症による死亡者数・緊急搬送者数は著しく増加傾向にある。
 町内小中学校での熱中症対策は、
答 暑さ指数と気温を基本に活動内容を制限している。

問 特別教室でエアコンが整備されていないのは、どういった教室なのか。
答 普段使用しない倉庫に利用しているような教室。

問 近年の猛暑や異常気象などを考えると、体育施設のエアコン整備も重要な課題である。本町の今後の方針は、
答 熱中症予防のために、体育施設での活動も制限せざるを得ないことが考えられる。エアコン整備にかかる費用は高額であり、



財源など考慮しながら検討していく。

問 町内すべての小中学校を同時に予算化するのには厳しいので、長期にわたり計画を立てる必要があると考える。緊急防災減災事業債や学校施設環境改善交付金などの補助金も活用しながら進めていたきたい。
答 どのような優先順位で計画していくのか。
答 体育館は、比較的天井が高く換気もしやすいと思われる。武道場は熱がこもり

やすく、道着や防具も着用することから熱中症が懸念されるため、武道場を優先的に検討したい。
 吉備中学校武道場のエアコン整備にかかる費用は約4700万円。

問 過酷な状況下で練習に取り組むことも必要なかもしれない。しかし、もっと良い環境で学び、しっかりと技術を磨くことも必要である。
町長の考えは、
答 体育館は今後の課題とし、まず武道場のエアコン整備に向けて取り組んでいきたい。

コロナ禍における投票所のあり方

問 今秋に衆議院議員選挙が行われる。今回は、コロナ禍での選挙で、投票行動に影響が出ることが懸念

される。
 安心して投票ができる環境を整えることは大変重要であると考え、投票所での感染症対策は、
答 消毒の徹底、使い捨て鉛筆の使用、N95（医療用）マスクの着用を予定している。

問 投票所が混雑しそうな日や、時間帯の予想を公表できないか。
答 過去の選挙の統計があるので、検討する。



中井原の町営住宅跡 駐車場の活用は



谷 畑 進

問 中井原の町営住宅跡地の現状と管理はどうか。

答 中井原の町営住宅跡地は現在、社会教育課が管理し、明恵の里スポーツ公園の第2駐車場として利用している。

また、隣接するゲートボール場は、平成28年3月まで金屋・吉備ゲートボール愛好会が使用していたが、団体の高齢化と競技人口の減少により現在は使用していない。

維持管理は、年間約2回の除草作業をしている。

広さは合わせて2790㎡ある。



町営住宅跡地の入口

問 高野山まで大型観光バスが通れるよう国道480号の整備計画が進められている。

沿線にある「道の駅明恵ふるさと館」は観光振興の重要拠点である。

また、明恵の里スポーツ公園では、スポーツや町イベントが開催され、利用頻度が高く、緊急時の自衛隊待機所でもある。

現状の駐車場以外に、広い駐車場が必要であり、重要だと考える。

観光面、防災面を考慮し、第2駐車場に加え、大型バスが入れるようにできないのか。

答 明恵ふるさと館側の町道から、新たに進入路を新設すれば、第2駐車場としての活用は可能かと思う。

ただし、周辺は私有地であり、進入路の整



道の駅明恵ふるさと館

町営住宅跡地

備や大型バスの車重に耐える駐車場の再舗装に費用がかかってしまう。

近隣地域の意見や明恵ふるさと館の集客・収容人数も勘案し、慎重に検討していきたい。

問 地域からの要望と、町の今後の使用計画はどうなっているのか。

答 地域から使用の要望も特にない。維持管理も必要であることから現在その活用方法を模索している。今後、協議していきたい。

ワクチン接種率 県、国と比較して



佐々木 裕哲

問 新型コロナウイルス。日本での感染は昨年1月が最初といわれ7月にかけて拡大。以後、緊急事態宣言が続発され現在に至っている。

答 不幸にも町内でクラスターが発生し、中学校などが休校になった。予防対策はどうだったのか。

答 文部科学省のマニュアルに準じ、徹底した予防をしたが、藤並学童でクラスターが発生し、町民の皆さんに心配と不安をかけた。今後、保健所の指導を踏まえ、飲食を控えるなど更なる対策に努めたい。

問 ワクチン接種は何歳まで、いつまでに完了するのか。

答 12歳以上が対象であり、10月末までにおおむ希望者は完了する。

問 接種率は他の県や国と比較して進んでいるのか。

答 1回以上の接種率は、(9月5日現在)町 約71%。
県 約68%。
国 約52%の接種率である。

問 ワクチンの効力は6カ月とも言われるが2回で終わるのか。

答 効力の明確な発表がないので不明である。接種は2回で終わるが、3回目は国の動向を注視したい。



通学路の 安全対策は

問 吉備地区は開発が進み、予想以上に人口が増え、うれしい反面交通量が増えている。通学路の安全対策が急務であると考えが見解は。

答 子どもサポーター、消防団、PTA、その他の皆さんに日々見守っていただいている。しかし、集落内の道路は狭く、危険なところも多く見受けられる。地元の意見・要望を踏まえ対応していく。

問 9月号特集、命を守る「私」「私たちが」もしにも備え具体的に自分を守る。地域を守る。家族を守る。そのための「自助」「共助」「公助」について掲載された内容は好評との声が多い。発行の経緯は。

答 町民の方の認識を深めてもらうために、

好評な 広報ありがわ

防災の日にあわせて毎年啓発を行っている。日頃から災害に対する備えが重要であり、今年は何度も協議を重ね特集を組んだ。

問 記事を読んで内容が受け入れやすく感じる。何か変わったことを行ったのか。

答 総務政策部内で広報委員会を作り、複数の職員で検討し、発行した。





中島 詳裕

地域林業の現状と 取り組みは

問 森林整備は。特に間伐事業の現状と今後の見通しは。

答 国・県の事業は減少傾向にある。町単独事業を増やしていく。また、設計単価や補助金も増額の方向で見直す。

問 林業従事者の受け入れと人材育成支援策は。

答 林業従事者就業奨励金で一時金30万円。奨励金月額2万円を2年間支給している。また、県農林大学校での研修に、最大140万円の給付があり、負担ゼロで研修が受けられる。



問 町産材利用促進のため、公共施設建設時に木材を利用したり、清水木材加工所の一部を土場（貯木場）として活用してはどうか。

答 今後の公共施設の建設に際し「林業のまち」を印象付けられるよう、木材の分離発注を含め検討する。また、土場の活用が実現するよう取り組み。

問 一般林家が、バイオマス発電用燃料として木材を納入できないか。

答 納入できるような関係先と協議する。

問 来年度より増額予定の森林環境譲与税。その活用方法は。また、単年度で全額を事業に活用すべきだと考えるが見解は。

答 既存の事業に加え新たに、森林整備に関する事業、作業道修繕、研修生受け入れ、林業機械購入などの事業を検討している。できるだけ単年度での消化に努める。

問 森林組合の合併は。実現に至っていないが、これからも勉強会などを通じて合併を勧めていきたい。

答 現在、さまざまな制度や補助事業で棚田の維持・管理の支援を行っている。今後は保存会や耕作者と連携を密にして取り組む。

問 林務課を林業関係者が多く居住する清水行政局に移設できないか。

答 県をはじめ、地域の林業関係者とさまざまな意見交換を行う中で事業展開ができていく。組織構成のこともあり林務課を移設することは難しいが、人員体制を見直して林業振興体制を強化したい。

名勝「棚田」は

問 関係農家の高齢化と後継者難で稲作の継続が危ぶまれる。今後、景観を維持していくために、町としてどのように関わっていくのか。

答 現在、さまざまな制度や補助事業で棚田の維持・管理の支援を行っている。今後は保存会や耕作者と連携を密にして取り組む。

問 この際、他地域で定めている「棚田の保全条例」を検討してはどうか。

答 保全条例の検討も必要と考えるが、直面する多くの課題に町も一緒になって解決に向け取り組むことが重要である。

意見 関係者だけの保全活動には限界がある。行政のしつかりとした支援をお願いしたい。



危険箇所の転落防止柵は



片畑 進之

問 本町のゆずっこ計画（健康づくり教室）の健康ウォーキングコースでもある、道の駅明恵ふるさと館裏の水路は、過去に転落事故が数件発生している。

答 また、金屋地内国道480号沿いの水路に掛かる小橋は、増水時に転落すれば下流の暗渠に流される恐れがあるが、それらの危険箇所の転落防止対策は。

答 明恵ふるさと館裏の水路は高さ2m以上あり、過去に転落事故が発生していると聞いている。



転落防止柵を設置することは可能である。しかし、町道の幅員が狭いので地元区長さんから要望してほしい。

金屋地内の水路の小橋は、地元区長さんから要望されているが、

限られた予算内で原則町道が基本のため、里道への設置は困難である。

増水時には危険なため、近づかないようにしてほしい。



ブロック塀の安全対策は

問 金屋地内で幅員2.5mの町道沿い、某会社の駐車場に高さ2m、道行き13mのブロック塀と6mの鉄扉があり、地震など災害時に倒壊の恐れがある。

近隣には高齢者や子どもが多く緊急避難の妨げになるが対策は。

答 道路に面したブロック塀が倒壊した場合、死傷者が発生したり、避難・救助活動の妨げになる。

危険箇所の対応は、県と連携を図りながら必要に応じて注意喚起し、相談窓口や町助成制度などの情報提供を行い、所有者に適切な維持管理を促していきたい。



堀江 眞智子

御霊学童保育所の増築を

問 御霊学童保育所保護者の調査では、来年度利用希望者は増加する。

また、新型コロナウイルスなどの感染症を予防する観点からも増築の計画は。

答 スペース的には収容可能だと考えるが、場合によっては応急的に学校施設を活用するなど検討したい。

同時に、今後を見据え学童クラブの職員や保護者の方々とも増築についての協議を重ねながら努力していきたい。

コロナ対策の

充実を

問 12歳未満の子どもにPCR検査を。

答 12歳未満の感染が危惧されるが、児童生徒へのPCR検査は現在考えていない。

問 学校の休校措置で、子どものために保護者が仕事を休まざるを得ない場合の休業補償は。

答 休校措置の場合、保護者の皆さまのご協力は不可欠だが、特に休業補償は考えていない。

問 修学旅行のキャンセル料は、町で負担できないか。

答 修学旅行のキャンセル料金は、予算の範囲内で検討していきたい。



有田圏域に産科を

問 有田圏域の産科がなくなることをどう考えるのか。

答 有田圏域で分娩できる医療機関がなくなると、必然的に和歌山や日高医療圏などに頼らざるを得なくなる。妊婦さんにとって、身近な医療機関での分娩ができなくなることを危惧している。

問 今後、有田圏域への産科の誘致はどうか。

答 産科医の誘致は難しい問題である。産科医招聘の要望を、1市3町の首長連名で県選出国会議員に行っていく予定。

1市3町で知事に要望を行っている。

今後も、産科医の確保に努めていく。



風力発電事業は どこまで進んでいるか



増谷 憲



問 有田川・海南風力発電事業計画でパブリックアフェアーズ協会が来町した目的と事業者の動きはどうか。
答 海南高原での風力発電事業の現状調査と事業者にアドバイスするため訪れた。

地元や関係者が反対しているので、事業者は撤退宣言を出してもらえるよう伝えた。

問 環境保全協定を事業者と結ぶべきではないか。
答 結ぶ必要はないと考えている。

問 発電施設の定期的な点検はどうか。
答 事業者が責任をもつて行うものである。

問 住民の健康調査はどうか。
答 民間事業者が行う

事業に、法的根拠がない中で役場がすることはない。

コロナ対策は 万全に

問 コロナ禍での経済対策、持続化給付金などの延長や対策はどうか。
答 国や県の支援策を使いながら、町は臨時交付金での対応をしていきたい。

問 無症状者などの検査体制は十分にとれるのか。
答 保健所が中心に行っているが、検査業務が増えたら町の保健師を派遣する協定を結んでいる。

問 学校の2学期開始にあたり、堀江議員と私でコロナ感染予防対策の申し入れを教育委員会へ行った。特に唾液による抗原



簡易キットでの感染者洗い出しが必要でないか。
答 唾液中による抗原簡易キットは信頼性の問題もあり、今後、研究していきたい。

問 学習指導要領を弾力化し「災害時」の対応を基本として進めるべきではないか。
答 授業時数の確保と子どもたちの状況に応じて、柔軟な対応をしていきたい。

問 妊婦のワクチン接種への対応はどうか。

答 町内の産科医で一般とは区別して接種している。
答 主治医の許可があれば集団接種も可能である。

問 有田市立病院での感染症対応病床数が拡大されたが、人的対応などに限界がある。広域的な支援が必要ではないか。
答 今後、有田市立病院から人的支援が必要であるとの情報が入った場合には、県に働きかけたい。

特に唾液による抗原



小林 英世

空気(エアロゾル)感染への認識は

問 新型コロナウイルスの感染経路は飛沫感染と接触感染がおもなものとされている。しかし、空気感染も感染経路だとの指摘する声も多い。当局の認識はどうか。

答 空気感染について厚生労働省は明確に公表していない。

しかし、研究が進み、飛沫核(エアロゾル)が空气中に滞留すると報告も公表されている。

感染力の強いデルタ株の流行に対し、手洗い消毒、3密回避はもちろん、不織布マスク着用や正しい着脱、換気の徹底や空気清浄機の活用が重要と認識している。

問 小中学校では、空気感染を念頭に感染防止を強化するべきと思うがどうか。

答 文部科学省の衛生管理マニュアルを徹底する。

特に感染力の強いデルタ株に対応した取り組みが必要と考え、今まで以上の換気や不織布マスク着用の推進に取り組み。

問 換気が適切に行われているか検証方法は、

答 CO₂モニターの購入を予定している。

問 CO₂モニターは二酸化炭素濃度の変化で換気状況を知ることができる。

いつ頃、どのような形で導入するのか。

答 できるだけ早く。携帯できるような機種を各学校に配り、教室の換気状況を確認したい。

問 児童生徒には一人1台のタブレットが配

布されている。

活用状況は。

答 今年度に入り、全員の年度更新とアカウン

ト設定を経て、活用を開始している。

コロナ禍においてリモート学習が注目されている。

早急に対応できるように取り組んでいる。

きれいな住みよいまちづくりへ

問 昨年県の「ごみ散乱防止に関する条例」が施行され、監視員を配置したと聞く。現状は。

答 各保健所に1人の環境監視員が任命されパトロールをしている。

管内では、花の里公園やなぎの里球場でポイ捨ての注意をしている。

なお、県内で過料(最高5万円)の実績はない。



花の里公園

問 監視員と環境衛生課の情報交換や話し合いはどのようになっているのか。

答 話し合いはしていない。

問 よりきれいな町づくりのために、監視員との連携や情報の共有が必要ではないのか。

答 これから連携していきたい。

問 環境美化に協力していただいている団体の現状をどのように把握しているのか。

答 町内には環境美化のため頑張っておられる団体や個人の方は多い。地域の環境美化に取り組んでいただくボランティア活動が広がっているようで、ありがたく思っている。

問 多くの団体や個人が美化に協力いただいている。

答 横のつながりができることでさらに進むと考えるが町長はどうか。
答 皆が寄る機会をぜひ作りたい。

過疎地域の活性化に 機能する清水行政局へ



岡 省 吾

問 過疎地域活性化に向けた清水行政局の役割は非常に大きいと考える。

地域に根ざした行政局の位置づけをどう捉えているか。

答 清水行政局の組織は、住民福祉室・産業振興室・建設環境室・総務政策室を配置。地域に根ざした行政サービスに日々、取り組んでいる。

各部門においても行政の縦割りを解消するため、行政局に出向き、地域課題を共有することに努めていく。

今後、円滑な住民サービスの提供に行政局の機能をより充実させていきたい。



高台から望む清水行政局とその周辺

問 各出張所・連絡所の存続に向けて方向性はどうか。

答 行政改革の観点から統廃合を進めるべきと考えるが、利用状況や地域事情を鑑み、当面は現状と考えている。

問 機構改革により、吉備・金屋の各課が部局体制に編成され、行政局各課が室に編成前と変わった点はどうか。

答 平成24年に行政の集約化と効率を図るため機構改革を行った。行政局は、課から室に編成。

それまで事業、予算の分配を吉備・金屋・清水の各課で調整していたものを、機構改革後は本局でまとめることになった。

問 行政局の体制がスリムになった。機能までスリムになっては本末転倒だ。

災害などの緊急時、危機管理の観点から、即座に対応・機能できる体制であるのか。

答 本部と行政局の連絡・連携に対しては、吉備・金屋庁舎とウェーブ会議により、町全体の情報を共有できる体制を整備している。

職員警戒体制も、行政局職員に加え、清水管内から本部に配属されている職員が行政局に参集し、有事に対応する体制を整えている。

問 農林業・観光振興、定住促進における行政局の立ち位置はどうか。

答 産業振興部が主導で進めているが、行政局産業振興室長を中心にそれぞれの担当職員



が各種事業に携わっている。

問 清水地区区長会の要望のひとつである林務課の行政局への配置の考えはどうか。

答 清水地域の活性化には林業振興が欠かせない。

組織構成のこともあり林務課配置ということとは難しいが、人員体制を見直して林業振興の体制を強化したいと考えている。

一般会計 補正予算<総額>2億6529万円

子育て支援として「出産祝金」を！

新型コロナウイルス対策で事業者支援！

令和3年第3回定例会は、9月1日から15日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案は、原案の通り可決しました。

なお、令和2年度一般会計決算ならびに各特別会計決算も上程されましたが、水道事業会計決算以外の決算認定については休会中に決算特別委員会で審査し、第4回定例会において採決します。



林道沼谷線

一般会計補正 予算(専決処分)

1億5819万5千円

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種と、5月に発生した豪雨により災害が発生し、緊急に災害復旧事業等を実施し、住民生活の安全を確保する必要があるため専決処分したもの。

〈おもな事業〉

● 林道災害復旧工事
7000万円
(林道沼谷線、林道中原三瀬川線)

● 機械器具借上料
600万円
(災害復旧工事に係る重機の借上げ)

● 新型コロナウイルスワクチン接種委託料
6957万円

● ワクチン接種のネット予約システム委託料
77万円

一般会計 補正予算

7104万4千円

〈おもな事業〉

● 集会所改修補助金
18万円
(尾上集会所の外壁修繕)

● 連絡所修繕費
100万円
(粟生公民館に粟生連絡所を移設)

● コミュニティバス停留所周辺修繕費
80万円
(道路修繕)

● 公共施設等総合管理計画見直し業務委託料
379万円

● 公共施設等総合管理計画の委託先はどこか。
答 委託先は「株式会社 すぎようせい」である。

● 今後、施設の統合・廃止の計画が中心になるのではないか。
問

● 令和2年3月に各施設別の統廃合、延命対策費用などを策定し、各施設の今後のあり方を方向付けている。今後の財政運営を考慮すると、統廃合の方が負担が少なくて済む。しかし、施設の利用や実態に合わせて検討していく。

● 管理道整備工事
250万円
(代替池管理道整備 熊井地区の山田池)

● ゴミ置き場設置補助金
40万円

● 消火栓修繕費
52万円
(消火栓蓋2カ所の修繕 吉田地区)

● 外国語指導助手派遣委託料
501万円
(新型コロナウイルスの影響により外国人教員の招致が難しく、民間の派遣事業所に依頼するため委託費)

● 公共施設等総合管理計画見直し業務委託料
379万円

● 公共施設等総合管理計画の委託先はどこか。
答 委託先は「株式会社 すぎようせい」である。

● 今後、施設の統合・廃止の計画が中心になるのではないか。
問

● 令和2年3月に各施設別の統廃合、延命対策費用などを策定し、各施設の今後のあり方を方向付けている。今後の財政運営を考慮すると、統廃合の方が負担が少なくて済む。しかし、施設の利用や実態に合わせて検討していく。

● 出産祝金

1800万円

*支給対象児…令和3年4月1日以降に出生し、出生日から申請日まで引き続き有田川町住民基本台帳に記録されている者。

*支給金額…対象児1人につき10万円

支給には町税納付などの要件があります。詳しくは有田川町役場やすらぎ福祉課(金屋庁舎)まで。

一般会計補正
予算(追加議案)

3605万8千円

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の内示があり、事業者への支援などを行うため追加したものの。

〈おもな事業〉

● 地域バス交通

運行支援給付金

300万円

バス事業者の事業継続のための支援金(県

地域交通運行継続給付金を受給しているバス事業者に対しての上乗せ支援)。
100万円×3社

● 飲食・宿泊・サービス業等支援金

1620万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、県の支援金を受給している事業者に対しての上乗せ支援。

常時使用する従業員の数	支援金額
0人～5人	15万円
6人～20人	30万円
21人～50人	45万円
51人～	60万円

問 予定している事業者数は、旧町別に何件か。また従業員数の区分分けと金額は。

答 県の担当課からの情報で算定していて、旧町別には確認できない。従業員の数も異なるが、総事業数は90件を想定している。

● キャッシュレス決済導入支援金

500万円

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止することを目的に、キャッシュレス決済を新たに導入する店舗・事業所等に対し、導入支援金を交付。
5万円×100件

● 教育施設における感染症対策費

60万円

パルスオキシメータ1(血中酸素飽和度を計る器具)購入費。
3万円×20施設



パルスオキシメーター

問 パルスオキシメーターは、どこにいくつ配備されるのか。

答 小中学校、保育所、支援センターの20施設に1つずつ配って活用する予定。

問 酸素濃度が低いと出れば、どのような対応になるのか。

答 すぐに保護者に連絡して医療機関を受診することになる。

● 新型コロナウイルス感染症緊急対策固定資産税相当額給付金

930万円

令和3年度固定資産税の特例に対する上乗せ支援。
上限100万円

● 感染症対策の強化に関する事業

195万円

庁舎内でのネットワーク環境の整備。

〈条例の制定・一部改正〉

◎ 過疎地域における持続的発展のための固定資産税の特別措置に関する条例の制定

◎ 手数料徴収条例の一部改正

◎ 手数料徴収条例の一部改正

問 徴収の委託業務にかかる諸費用は、システム機構から町へ出るのか。

答 事務経費はマイナンバーカード事務費補助金および普通交付税措置の対象になっている。

問 システム機構が再交付の手数料を決定する。今後、手数料の引き上げも可能ではないか。

答 手数料は機構が定めるため、引き上げも可能である。

◎ 個人情報保護条例の一部改正

◎ 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

◎ 下水道条例の一部改正

〈財産の取得〉

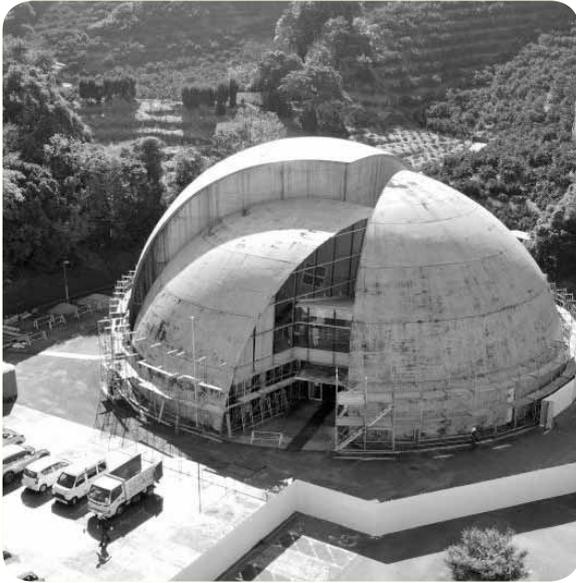
◎ 小型動力ポンプ付積載車(2台)の購入
822万3600円

金屋支団の北班と中井原班に更新配備。

◎ 消防隊員用個人防火装備(防火服・防火帽・しころ)購入
893万9700円



防火帽・しころ



令和4年3月末まで使用できません

〈計画の策定〉
 ◎過疎地域持続的発展市町村計画の策定

〈請負契約〉

◎きびドーム大規模改修工事（建築）
 1億3475万円

◎きびドーム大規模改修工事（電気設備）
 1億842万7千円

◎きびドーム大規模改修工事（機械設備）
 7481万1千円

〈意見書の提出〉

●コロナ禍による厳しい財源状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

●シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

〈人権擁護委員候補者の推薦〉

上田 敦子氏…角高垣かすみ氏…吉原和田啓次郎氏…天満

令和3年第3回定例会の採決状況（誌面の都合上、黄否の分かれた議案のみ掲載します）

議案名	議員名 結果	堀江	増谷	椿原	中島	星田	片畑	谷畑	小林	林	殿井	佐々木	岡	森谷	新家	湊	亀井
		有田川町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	多数	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	欠
有田川町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	多数	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	欠	○	○
有田川町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	多数	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	欠	○	○

（注）森谷信哉議員は、議長のため採決には加わらない。 ○は賛成 ×は反対

〈決算審査特別委員会委員構成〉

◎星田 仁志
 ○椿原 竜二
 堀江眞智子
 増谷 憲
 中島 詳裕
 片畑 進之
 谷畑 進
 小林 英世
 林 宣男
 殿井 堯
 岡 省吾
 新家 弘
 湊 正剛
 亀井 次男

◎令和2年度一般会計決算ならびに各特別会計決算は休会中に審査され12月定例会において採決します。

〈決算認定〉

◎令和2年度水道事業会計剰余金の処分および決算認定
 （詳細は17ページ）

令和2年度 有田川町資金不足比率報告（単位：％）

	比率	経営健全化基準
水道事業	—	20
簡易水道事業	—	20
公共下水道事業	—	20
農業集落排水事業	—	20
簡易排水事業	—	20
浄化槽事業	—	20
かなや明恵峡温泉事業	—	20

資金不足額がない場合は「—」表示
 ※指標から現在は健全な財政状況ながら、今後もこの数値を十分注視する必要がある。

令和2年度 有田川町健全化判断比率報告（単位：％）

	比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.30	20
連結実質赤字比率	—	18.30	30
実質公債費比率	13.0	25.0	35
将来負担比率	3.2	350.0	

実質赤字または連結実質赤字がない場合は「—」表示

～有田川町町長選挙及び議会議員一般選挙の日程が決まる～



- ・立候補予定者説明会 令和4年1月6日（木）
- ・告示日 令和4年1月25日（火）
- ・投開票日 令和4年1月30日（日）

*令和3年9月1日現在の選挙人名簿登録者数
 男：1万0261人 女：1万1672人 計：2万1933人

総務文教福祉常任委員会

【付託議案の審査】

当委員会に付託されました請願1件、依頼1件を審査し、慎重審議の結果、委員会では両件とも全員賛成で採択と決しました。

者全員の接種をおおむね完了する予定とのことです。

現在、予約受付の方法として、電話とネットでの予約を併用しています。

【消防本部】

○消防指令業務の共同運営の件

湯浅広川消防本部との消防指令業務共同運営を協議中であるが、県下の消防救急デジタ爾無線改修に合わせて、和歌山県指令業務一元化の提案を受けているとのこと。今後、県の状況をみながら調整されます。

○出産祝金の件

出生を奨励・祝福し、経済的支援ならびに住促進を図るため、町単独事業で出産祝金を支給します。なお、町税納付などの要件があります。

詳細は14ページを参考。

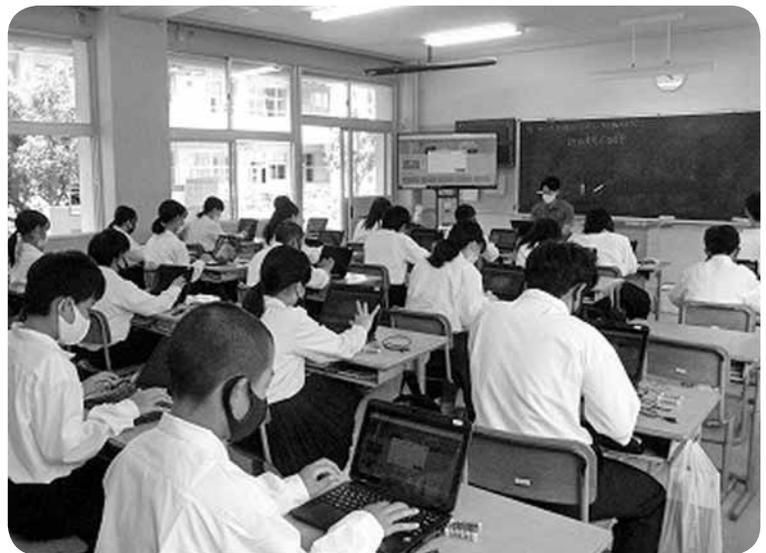
○紀の国わかやま文化祭開催の件

和歌山県が主催する文化祭。

福祉部局が担当する催しとして、地域交流センター「ALEC」

で障がい者への理解を深める交流事業が行われます。

また、教育部局が担



当する催しとして「絵本のまち有田川町」を全面にアピールするイベントを10月30日（土）から11月21日（日）にかけて、町内各所で開催されます。

【総務政策部】

○固定資産税の特別措置の件

国の過疎振興法が新たに施行されたことに

に伴い、固定資産税の課税免除に関して町条例を制定します。

【教育部】

○タブレット活用授業の件

コロナ禍での教育方針のひとつとしてタブレットを使用した教育（GIGAスクール）が、小中学校で始まっています。

防災・減災、国土強靱化特別委員会

9月13日に委員会を開催しました。

委員会当日は、有田振興局より担当部職員ならびに有田郡市選出の県議3名にも同席を願い、県の事業について説明を受け、現場を視察しました。

当委員会で協議する数々の事柄の中で、防災の観点から、最重要課題として、河川の整備があります。

過去において、昭和28年7月18日に起こった未曾有の大水害では有田川流域で甚大な被害

害をもたらしました。その教訓を踏まえ、

有田川の堆積土砂の搬出や河川内の雑木撤去が急がれます。

委員会は、県に対し河川整備の重要性を訴え、同席の県議にも強く要望いたしました。

今後とも流域住民の安心・安全なまちづくりのためにも、県との連携をより一層深め、委員会として問題提起してまいりたいと考えています。



浚渫が求められる河川敷

産業建設住民常任委員会

【産業振興部】

○しみず温泉の件

老朽化している「しみず温泉」整備計画の進捗状況と、今後の予定について商工観光課から説明を受けました。

- ・新設場所は現在地より谷の上流。
- ・基本コンセプトとしては女性をターゲットにしたい。
- ・今後の進め方設計業務と並行し



て、検討委員会で協議し、地域に説明しながら、年内の実設計完了をめざします。

○しみずスポーツパークに関する協議の進捗状況の件

民間会社がりニューアル運営に乗り出す意向を示しており、令和4年度からの運営移行に向け協議を進めていると説明を受けました。

○移住就業支援拠点施設(旧城山西小学校)の整備・運営の件

校舎改修構想の説明を受けました。

【1階】

コインランドリー
オープンキッチン
コワーキングカフェ

【2階】

長期滞在者用個室
10室程度
インターンルーム
シャワーブース
ライブラリースペースなど

【その他】

○県立有田中央高校「品評会」と町「どんどんまつり」の融合の件

○有田川町持続化給付金の実績報告

決算審査特別委員会

9月15日、令和2年度水道事業会計剰余金の処分および決算を認定しました。

【水道事業会計】

業務概要は、給水件数が6971件で114件の増加、対前年度比1.7%増加しています。給水人口は1万6521人で、昨年度より99人の増加となっています。

総有収水量は、6万5000m³増加し、対前年度比3.2%増加しています。

営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は、前年度より減少しています。

販売水量は増加していますが、コロナ禍により減免したため、営業収入は低下しているとの説明を受けました。

供給単価は、給水原価を上回っていることから、料金収入のみで必要経費がまかなわれており、経営状況も良好でした。



今後、経営効率を重視し、有収率の向上に向けて継続的な取り組みを行うとともに老朽管の更新なども行い、有収率の向上をめざしていくとのことでした。

最後に、今後も引き続き安心・安全な飲料水を安定して供給できる体制づくりに、なお一層取り組まれるよう要望しました。



【町民の皆さまへ】

◎次回定例会の予定
 第4回定例会は11月16日開会予定で、一般質問は11月25日、26日に行う予定です。
 ぜひ、傍聴にお越しください。

◎請願・陳情の受付

第4回定例会での審議を希望する場合は、11月8日までに議会事務局へ提出してください。

お問い合わせ ☎ 22-13294
 吉備庁舎4階議会事務局まで

広報広聴常任委員会

- ◎ 増谷 憲
- ◎ 小林 英世
- 椿原 竜二
- 中島 詳裕
- 星田 仁志
- 岡省 吾

◎は委員長
 ○は副委員長

編集後記

暑さがようやく和らいできました。しかし、和らいでくれないのが新型コロナウイルス感染症です。

議会は皆さんの声にも少しも応えられないよう広報を通じて新型コロナ対策についてお知らせしてきました。今議会、約3322万円の補正予算で事業者への支援や感染症対策を予算化しました。

昨年からの一般質問で、毎回数人の議員が新型コロナ関連の質問をしてきました。今後も引き続き議会として取り上げていく課題であります。

各定例会の一般質問登壇者数は平均9人（定数16人）と、県下の町村議会の中でも多い方です。

それだけ町民の方から取り上げてほしい課題をいただくからです。

今後ともみんなで頑張る決意です。
 （増谷 憲）